

～ みなくち子どもの森 園内 ～ (12・1月ごろ)

# 今月の生き物 (どうぶつ・しょくぶつ)



**センダンの実**

体験農場付近にあります。丸い実がたくさんぶら下がっています。



**サザンカの花**

自然館の近くに植えられています。花の少ない寒い時期に咲くツバキの仲間。



**ビワの花**

体験農場の近くに植えられています。この花の実が育つと、初夏に食べる甘いビワの実になります。



**オオイヌノフグリの花**

日当たりがよく、風の当たらない場所では、早くも春の草花が咲きます。体験農場付近など(白い花はハコベのなかま)。



**ホトケノザの花**

体験農場付近に多く咲きます。細長い筒(ツツ)状の花は、近くで見ると、とてもきれいです。



**ナズナの花**

体験農場付近に多く生えています。春の七草の一つです。“ペンペン草”とも呼ばれます。



**メジロ**



**エナガ**



**シジュウカラ**



**ヤマガラ**



**コゲラ**

冬の森の中をしずかに歩いていると“チーチーチー”“ジュルル”“ジクジクジク”“ニーニー”“ギイー”など、さかんに鳴き声が聞こえて、たくさんの小鳥が、木から木へと飛び移ってゆくのを見かけます。これらの小鳥の群れは、厳しい冬の間、餌を探したり、敵から逃げたりするために、いろんな種類の小鳥と一緒に協力して行動しているものです。



**マガモ (オス)**

草沢池に20～40羽の群れが見られます。毎年、10月の下旬ごろに、寒い北の国から飛んできて、子どもの森の池で冬を越します。翌年3月下旬に北へ旅立つ渡り鳥です。



**チョウセンカマキリの卵**

園内の草地をよく探すと見つかるカマキリの卵。丸くて大きい形をしたものは、オオカマキリの卵です。ハラビロカマキリの卵は、木の上に産まれます。



**スコットカメムシ**

石や板のすき間、人家の物置などで、冬を越しているのが見つかります。クサギカメムシとともに、家の中に入って、嫌われるカメムシです。



**ウスタビガの繭**

冬枯れの木の枝に鮮やかな黄緑色が目立ちます。晩秋にガの親が出た後の抜け殻の繭(まゆ)です。